

【平成17年度専修学校教育重点支援プラン】

事業名	言語聴覚士養成課程へのOSCE導入のための教育プログラム作成		
学校法人名	学校法人 敬心学園		
学校名	臨床福祉専門学校		
代表者	理事長 小林 光俊	担当者・連絡先	高木博義 臨床福祉専門学校 〒177-0045 東京都練馬区石神井台 3-35-21 Tel 03-5910-3711

<事業の概要>

1. アンケート調査  
全国の言語聴覚士養成施設に対しOSCEに関するアンケート調査を行なった。
2. OSCEトライアル  
本校言語聴覚療法学科2年生を対象に、OSCEトライアルを実施した。
3. OSCEに関する講義・演習  
本校言語聴覚療法学科1年生を対象にOSCEに関する講義・演習を行なった。
4. OSCE本番  
平成18年1月26日言語聴覚療法学科1年生33名を対象に、本校アリーナに6ステーション×2ラインの仮説ブースを設置してOSCE本番を実施した。
5. OSCE受験生へのアンケートとその分析  
OSCE本番受験生33名にアンケートを実施し、その分析を行なって、今回のOSCEの信頼性を考察した。
6. 成果報告会  
2月26日（日）午後本校にて「成果報告会」を開催、約150名が参加した。
7. 平成18年度カリキュラム編成  
本校言語聴覚療法学科のカリキュラムにOSCE導入を具体化した。

<成 果>

1. 言語聴覚士養成課程へのOSCE導入の有効性を実証  
本校の言語聴覚療法学科においてOSCEを実施することが現実に可能であり、且つそれは学生の臨床能力向上のために有効であることを、OSCEのトライアルとOSCEの本番でもって実証した。翻ってこのことは、全国50数箇所の言語聴覚士養成校においても、同様にOSCEを導入することが極めて有効であることを示唆している。
2. テキストブックとDVDテキストの開発と制作  
学生にOSCEを施すためには、学生に適切なテキストを与え、それをもとに学校では講義と演習を行ない、且つ学生は個人又はグループで学習を繰り返すことが要請される。そのためには何よりも、言語聴覚士を目指す者に特化したテキストブックが必要であり、且つ実技を伴うところから映像による学習が必須のためDVDテキストも望まれるところであった。われわれは本事業において、テキストブックとDVDテキストの2種類のテキストを開発し制作した。

### 3. 評価者マニュアル

OSCEを学生の臨床能力判定のツールとして定着させるためには、評価者による評価（成績判定＝採点）の客観性が問われる。今回の事業の中で、評価者のためのマニュアルを作成できたことは大きな成果である。

### 4. 言語聴覚士養成施設教員のためのマニュアル

言語聴覚士養成施設で実際にOSCEを実行する段になると、教員はどのように作業を進めたらよいか戸惑うであろう。本事業でわれわれが開発し制作した成果物3点、すなわち「報告書」「基本的臨床能力テキスト」「DVDテキスト」は三位一体となって、教員のためのよきマニュアルとなるものである。

#### <成 果 物>

次の三つである。

1. 「報告書」
2. 「言語聴覚士養成課程用 基本的臨床技能テキスト」
3. 「DVDテキスト」